

◆◆◆例会報告◆◆◆

■ 第 168 回 伊豆歩倶楽部 10 月例会

第 4 回 富士山麓一周ウォーキング（初冠雪の霊峰富士と紅葉を楽しむ）

- ・開催日 平成 28 年 10 月 22・23 日（土・日）
- ・参加者 10 名

*1 日目（10 月 22 日（土））

- ・集合時間 9 時 45 分
- ・集合場所 山梨県 山中湖村役場前
- ・天 候 薄曇り
- ・距離 16Km
- ・出発式 挨拶 笹本会長
コース説明 味岡照介
ストレッチ体操 味岡照介
檄 保坂泰子
- ・コースリーダー トップ 味岡照介 アンカー 飯作勝治
- ・閉会挨拶 飯作勝治

松崎を 5 時 15 分出発、下田駅から東海岸線沿いと道の駅「伊東マリンタウン」で参加者を乗せて 7 時 30 分目的地に向かう、紅葉の始まった山中湖村役場前に 9 時 45 分着く、出発式を行い 10 時 00 分スタート、別荘地帯から山中湖畔沿いを進む霊峰富士山は雲のあいまから山頂が覗いている。山中湖花の都公園で小休止をして 11 時 20 分スタート、庭先には赤く色付いた「かいどう」が美しい、忍野八海に 12 時 30 分着く昼食をとって忍野八海を廻り整備された歩きやすい東海自然歩道から道の駅「富士吉田」に 15 時 35 分着、小休止をして 15 時 00 分スタート、草刈りがされた東海自然歩道を進み金運神社と呼ばれている新屋山神社では神主さんから全員でお祓いを受ける。一日目の目的地北口本宮富士浅間神社に 15 時 40 分ゴールする。

*2 日目（23 日（日））

- ・集合時間 8 時 45 分
- ・集合場所 北口本宮富士浅間神社
- ・天 候 晴れ
- ・距離 12Km
- ・出発式 挨拶 徳田尚志
コース説明 味岡照介
ストレッチ体操 味岡照介
檄 増田満貴子
- ・コースリーダー トップ 味岡照介



・閉会挨拶 ミドル 飯作勝治 (庭園は鯉が泳ぎ、樹木は良く手入れされ、美しい庭園でした。)

宿の庭園と紅葉が素晴らしい、富士山は裾野から山頂まで望める。北口本宮富士浅間神社を 9 時 00 分スタートする。富士講信者の宿泊や食事の世話をした御師の住宅地を進み金鳥居を 9 時 30 分通過する。河口湖駅 10 時 25 分河口湖大橋 (500m) を渡り河口湖美術館前の広場で小休止 11 時 20 分、富士山はいつものまにか雲の中に隠れている湖畔の遊歩道を進み目的地の大石公園に 12 時 20 分ゴールする。

河口湖発 14 時 30 分 伊東着 17 時 15 分 下田着 18 時 50 分

■第 168 回 伊豆歩俱樂部 10 月例会

第 4 回富士山麓一周ウオーキング(初冠雪の霊峰富士と紅葉を楽しむ)

伊豆歩俱樂部会員 NO.304 吉田克二

咲き乱れるコスモス畑に行く。真っ赤な花はダリアか。富士山は美男美女 10 人にもものおじして、雲間に隠れている。時おりのぞかせる頂上に、雪はまだない。歩き始めの山中湖では寒風に吹かれたが、ここ花の都公園あたりで穏やかな秋日和に変わった。

樹海の間を抜けて、忍野八海 (おしのはっかい) に出る。富士からの湧き水をたたえた池で、その昔は登山の信者が身を清めたという。いまはどの池も観光客で騒がしいが、水はなお底の底まで透き通り、静かさを保っている。正面に富士があらわれた。雲を帽子にし、ふもとに紅葉、その下に池の水面。いろどりを重ねた 景観にしばし見とれてしまう。

富士山頂から移設されたレーダードームを過ぎると、いつしか樹林に吸い込まれている。一帯は東海自然歩道。ドングリ、落ち葉をふみしめ、とても歩きやすい。水路に沿って草を刈り込んだ道は、ススキがほおをくすぐる。

道すがら新屋山神社 (あらややまじんじゃ) を訪ねた。お宮の木立に分け入ると、小ぶりだが堂々とした神殿があらわれた。伊豆歩のウオークと知った神官がメンバーを呼び寄せ、おはらいをしてくれた。ご利益はいろいろあるが、とくに金運だそうだ。

2 日目。富士山はくっきりと姿を見せた。バスが歓声に包まれ、気分がぐんと上がる。

北口本宮浅間神社を出発して、なだらかな参道を下りていく。坂の左右にはかつて、御師 (おし) の家が建ち並んでいた。御師とは、富士山をめざす信者に宿を提供し、祈りをあげる人のこと。明治以



(初冠雪を見ることができませんでした。)

降は衰えてしまったが、旧跡の案内板をたどって昔のにぎわいを思い浮かべる。家の多くは参道から奥まったところにあった。「車では気が付かないね」と、歩きの効用をうなずき合った。

一の鳥居である「金鳥居」まで下って西へ曲がる。この通りは富士山駅～富士急ハイランド～河口湖駅をつなぐ観光・登山の拠点となっている。名物のほうとうやうどんを売り込む看板を縫って歩く。駅前には世界あちこちの言葉が飛び交い、日本語は肩身が狭い。

河口湖が丸ごと見える大橋を渡るころ、雲が出てきた。雨はない。湖畔の歩道に入り、ようやく舗装路から解放された。

終戦時、河口湖に疎開していた作曲家・古賀政男の記念碑に出会った。碑のセンサーが働き、「影を慕いて」のメロディーが流れ出す。だれともなく歌い始め、やがて伊豆歩合唱団となった。富士は雲に入っていたが、歌声はきっと届いただろう。

山中湖から河口湖まで30km。花、水、木をたどり、富士山の魅力が詰まった2日間だった。山ろく一周ウォーキングは、まだ道半ば。残りを歩く日が早く来ないかとしみじみ思った。

そうそう。二つ言い添えたい。宿は、弘田さんがなじみの「庭園茶寮山中湖」。その名の通り庭が美しく、コケを配した山水は、観光コースに入れてもいいくらいだ。

もう一つ、出発式のゲキを、初日は保坂さん、2日目は増田さんがつとめ、盛り上がった。姉妹によるゲキ連打は、伊豆歩の記録に残りそうだ。